



東中学校だより

令和6年4月26日 第2号

文責 校長 沼野 友宏

学校教育目標 ○進んで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○身体をきたえる生徒

G. Wへ

新年度がスタートして、4月も終わろうとしています。授業中の生徒の様子を見ると各クラスとも落ち着いた雰囲気です。1年生は、自転車通学や部活動も始まり、疲れがたまってくる頃かと思えます。明日からのG. W、部活動もありますが、少しでもリフレッシュしてもらえればと思います。

G. W中は自動車の交通量も増え、普段、通らない観光等を目的とした自動車が行き交うこともあります。部活動等での登下校は、交通ルールを守り交通安全に、また、川遊び等での水難事故や熱中症にも十分注意して有意義なG. Wを過ごしてください。

以下に始業式で話したことを掲載いたします。



【給食配膳中】

今日は、新年度のスタートの日です。新しい先生、友達、新しい環境など、色々な出会いがあります。出会いを大切に、新年度をスムーズにスタートしてください。

さて、新年度にあたり、2つのこととお話しします。

1つ目は、「人は節目で伸びる」ということです。今日は、進級した皆さんにとって、一つの節目にあたります。人は節目の時に、これまでの自分を振り返って「自分を変えたい」、「もう一度やってみよう」という新たな気持ちになり、何か目標を立て、「よしこれを頑張ろう」という決意をします。そして、その目標が本当に自分にとって大切な目標であれば、そのために必死に頑張る。頑張ることで自信が付く。だから、その人は伸びていくという良いサイクルになります。よく言われることですが「過去を変えることはできないが、未来と自分を変えることができる」ぜひ、新年度のスタートをチャンスと捉え、今年度の目標をしっかり立てて、前向きな気持ちで学校生活を送って欲しいと思います。

2つ目は、「自分に向けられる厳しい言葉を、大切にしたい」ということです。褒められる、称賛されるというのは、誰にとっても嬉しいものです。一方、誰かから厳しいことを言われる、注意される、そうすると心の中は決して穏やかではありません。しかし、少し時間が経って落ち着いたら、冷静な気持ちで、ちょっと考えてみてください。厳しい意見をもらったこと、注意されたことは、「くやしけれど、指摘されたことが当たっていないかどうか」自分に向けられた厳しい言葉の中に、実は自分を磨くヒントが隠されています。厳しいことを言われた、注意された、だから腹が立った。ここで終わったら、人は変わりません、成長できないと思います。しかし、その後、「悔しいけれど、当たっていないかどうか」「自分には見えていなかったけれど、その通りだ」と思った時点から、自分の行動が変われば、人として成長できます。ところが、成長するにつれて「自分に対して向けられる厳しい言葉」は減っていきます。大人になると、気づいていても、言ってもらえないこともたくさんあります。だからこそ、「自分に向けられる厳しい言葉」を大切に、自分を磨くヒントにして欲しいと思います。

3年生にとっては、これからの学校生活にはすべて「最後の体育祭」というように「最後の」という冠がつけます。是非、最上級生として下級生の模範となるよう、全力ですべての活動に取り組んでください。同時に、初めて自分の進路を選択することにもなります。「継

「続は力なり」と言います。最後まで諦めず、強い信念を持って、希望する進路実現に向けて、地道に努力を重ねていって欲しいと思います。

2年生は、今年の後半から学校の中心となって活動することになります。勉強に、行事にそして、部活動などに、思い切りチャレンジして、失敗してもそれをばねに、さらに自分を伸ばし、ステップアップするような生徒であって欲しいと思います。

この1年間の皆さんの活躍と成長を楽しみにしています。

令和6年度学校教育目標等について

令和6年度の学校教育目標等は、教育の継続性を考え、以下のよう
に決めました。

東中は地域の学校であり、家庭や地域からのご理解やご協力によって教育活動を行うことができます。そこで、生徒のみならず、先生方にも笑顔や感動が溢れ、生徒一人一人が新たなこと(目標等)に挑戦し、地域の学校として家庭や地域から愛される学校を目指していきたいと考え、目指す学校像を「笑顔・感動・挑戦する精神にあふれ、家庭・地域から愛される学校」といたしました。



○校 訓 より深く より強く より美しく

○学校教育目標

「自尊感情を育み、夢と希望に挑戦する生徒の育成」

進んで学ぶ生徒(知) 心豊かな生徒(徳) 身体を鍛える生徒(体)

○目指す学校像 「笑顔・感動・挑戦する精神にあふれ、家庭・地域から愛される学校」

○目指す教師像

「組織：組織の一員として、高い使命感と強い責任感をもつ教師」

「熱意：何事にも誠意と熱意を持って対応できる教師」

「向上心：絶えず研修に努め、自らの指導力の向上に努める教師」

「信頼：良い授業が行われ、良い人間関係が築かれ、地域を大切にする教師」

「常識：社会人としての自覚ある行動のできる教師」

お知らせ

既に、保護者の皆様には通知で、生徒には口頭でお知らせいたしました。近年、女子生徒の制服にスラックスを導入する学校が増えてきております。本校においても、①冬季の防寒 ②趣向や好み等の多様性 ③自転車乗車時の機能性等社会の多様性や要望に鑑み、今年度より女子生徒の制服としてスカートの代わりにスラックスを選択できるようにいたしました。また、生徒には口頭で説明してありますが、靴下につきましては白色のみでしたが、今年度より白色以外に紺色、黒色も可としましたこともあわせてお知らせいたします。保護者の皆様には、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。